

貴組織名：アイコーデ イネ-タやまぐち協同組合

1. 中小企業金融公庫との連携実績（～2006年度まで）

・連携支店名：下関支店

1) 研修開催における連携

	年・月	スポンサー	主催機関名	参加者数	内、有料契約社数
記入例	2006.7	IT 経営応援隊事業	大阪府経営合理化協会、中小公庫大阪支店	19	2
	2006.7	IT 経営応援隊事業 経営者向け研修	中小企業金融公庫下関支店 / 中小公庫下関友の会	12	
	2006.12	IT 経営応援隊事業 IT 経営成熟度診断	ITC やまぐち協同組合	1	

< 成果に関する組織としての評価や具体的な成功企業についてのコメント >

- ・ 経営者または経営後継者の参加が多く、充実した研修が行われたと思う。
- ・ 受講組織の経営課題への対応を ITC として支援する方策策定を研修内容に組み込むことが必要と思われた。（課題対応への提案をし、コンサル受注につなげる）

2) その他の連携（あれば）

< 連携の内容について >

3) 中小企業金融公庫側の対応と評価について

< 中小企業金融公庫側の連携先キーマンと窓口担当者 及び評価（想像） >

- ・ 満枝支店長（税理士）：以前の勤務地の情報を踏まえ好意的な対応を感じる。
- ・ 板野副長（中小企業診断士 / ITC）：多忙の中、好意的に対応していただいた。

4) 担当 ITC と役割

ITC 名	インストラクター（メイン or サブ）	役割（コンサル担当等）
谷口修	インストラクター	経営系コンサル
原田耕太郎	インストラクター	情報系コンサル
水津敦史	インストラクター（サブ）	セキュリティ系コンサル

2.2007 年度以降の中小企業金融公庫との連携計画について

1) 研修開催における連携の計画・目標

< 具体的な計画・目標があれば >

- ・ 経営者向け研修会開催（昨年に引き続き、3日コース、4日コースの開催）
- ・ C I O 研修会
- ・ 『公庫内部で検討したが、昨年同様では集客が難しいので、1日コースや成熟度診断を利用したい』と申し入れがあり、計画の変更を提案中。

2) その他の連携

< 具体的な計画があれば >

- ・ I T C やまぐち主催研修会 / セミナー：主催研修会の集客協力依頼

3. 中小公庫との連携をより進めるために

1) 貴組織が考える「中小公庫との理想の連携の姿 (To Be モデル)」とは？

< 具体的にコメントをお願いします >

- ・ 基幹システム導入検討企業への連携アプローチ
- ・ 基幹システム導入失敗企業へのリプレースに向けた連携アプローチ
- ・ I T 経営への先進的な取組み企業への協業
- ・ 上場及び上場計画企業に対する内部統制整備支援での連携アプローチ

2) 実現のための重要成功要因 (CSF) と K P I は何ですか？

< 具体的にコメントをお願いします >

- ・ 該当企業情報の共有 : 定期訪問 (情報交換) 1 回 / 2 ヶ月
- ・ 経営者向け研修会への参加協力 : 研修参加企業の 8 0 % 集客
- ・ I T C やまぐちの実績アピール : 定期訪問中で、実績アピール / 各回
- ・ I T C やまぐちの研修・セミナー商品アピール : 定期訪問中で、実績アピール / 各回

3) 貴組織が抱える問題点、他の組織や協会への要望等

まだまだ実績不足ですので、全国的な実績を含めて【実績アピール】を図っていきたいです。

全国に拠点が複数ある企業 (例えば本社:東京、工場:山口) において、拠点にある他の組織と必要な連携を行う場合に協会に仲介していただく。

以上